

## 主要課題及び将来都市像の検討について

### 安芸市都市計画マスタープラン

#### 4 章

4. 目指すべき将来像 .....	4-1
4.1 都市づくりの方向性の検討 .....	4-1
4.2 将来フレーム案 .....	4-6



## 4. 目指すべき将来像

### 4.1 都市づくりの方向性の検討

安芸市都市づくりの課題及び都市づくりの施策の評価でとりまとめた都市づくりの課題を基に、見直しにあたっての方向性の整理を行い、計画を策定していく上での主要論点として設定する。



■上位関連計画

【高知県】

◇東部圏域都市計画区域マスタープラン

- ・方針「①魅力あふれるまちづくり」「②持続可能で人にやさしいまちづくり」「③安全・安心・快適なまちづくり」
- ・目標「培われた人と自然の調和力 ～豊かな海の幸、山の幸、人の幸～」
- ・安芸市：医療・商業など広域的な役割を担う都市機能を維持・集積する「圏域拠点」

◇高知県震災復興都市計画指針【計画編】

- ・事前復興計画づくり i) 都市構造や土地利用 ii) 道路や交通 iii) 地域連携

◇高知県土地利用基本計画書（安芸地域 抜粋）

- ・農業や林業などの分野での資源を活かす土地利用・製造業や観光産業にもつなげるような土地利用の方向
- ・地域住民を守るための安全・安心に配慮した土地利用

【安芸市】

◇安芸市総合計画（前期基本計画）2016

- ・都市将来像「市民一人ひとりが幸せを実感し、笑顔が輝く活力あふれる元気都市」
- ・都市基盤分野の目標「【環境・生活基盤】美しい自然と調和した暮らしやすいまちづくり」

◇安芸市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

- ・人口ビジョン編：将来展望→2060年に人口14,000人
- ・基本目標
  - 1 産業振興により安定した雇用を創出する
  - 2 安芸市へ新しい人を呼び込む
  - 3 若い世代が安心して結婚、出産、子育てができるまちをつくる
  - 4 時代に合った地域社会をつくる40年間で公共施設の総量（延床面積）を20%縮減する。

◇公共施設等総合管理計画

- ・公共施設等：施設の複合化・集約化を検討
- ・インフラ：中山間地域、市街地、高速道整備等の事業確保

◇安芸市道路交通網ビジョン（基本目標）

- ・①快適で便利な市民生活を支える道路交通網・②地域活力の維持・向上を支える道路交通網
- ・③安心で安全な市民生活を支える道路交通網・④適切に管理され、整備効果の高い道路交通網

◇安芸市農業振興地域整備計画

- ・市街地を除く大半が農業振興地域

◇安芸市地域防災計画

- ・防災まちづくり・災害に強い土地利用の推進

◇安芸市過疎地域自立促進計画

- ・産業の振興・通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進・生活環境の整備・高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
- ・医療の確保・教育の振興・地域文化の振興等・集落の整備・その他地域の自立促進に関し必要な事項防災まちづくり

◇災害に強いまちづくりガイドライン

- ・「命を守るために逃げる」「避難時の生活環境を整える」「災害に強いまちをつくる」「災害に負けない人・組織等をつくる」

■現状と課題

【人口】人口・人口密度の低下の抑制

- ・H27人口1.8万人⇒H72人口1.4万人
- ・高齢化率：H32（38.0%）をピークに減少
- ・DID地区：H27面積170.0ha、人口5.4千人（31.8人/ha）（都市の衰退が懸念）

【土地利用】市街地の低密度化の抑制

- ・土地利用の面積構成はほぼ変化がない
- ・スポンジ化（空地・空家）の増加、農用地の若干の減少傾向

【公共交通】公共交通サービスの向上

- ・県道：道路改良率はH25度末36.0%と県内平均60.9%より低水準、すれ違いのできない狭小道路が存在
- ・市道：道路改良率は平成25年度末37.9%と県内市町村平均44.2%より低水準、橋梁などの道路構造物の老朽化対策、地震対策が必要
- ・高規格道路：阿南安芸自動車道が検討中（安芸西I.C.、安芸中I.C.、安芸東I.C.）
- ・鉄道：ごめん・なはり線（約1,300人/日H29年）の今後の利用者減が懸念
- ・路線バス（元気バス）：約2.4万人（H28年）で横ばい、元気バスは7路線で運行し、高齢者などの通院や買い物に欠かせない交通手段

【都市施設】都市施設の整備促進

- ・都市計画道路未着手3路線
- ・都市計画公園・都市計画緑地は、西八幡公園と安芸広域公園は一部供用、伊尾木川緑地供用率8%
- ・上水道普及率（上水道、簡易水道、飲用水供給施設）は人口の96%（H13年度）
- ・都市計画区域内公共下水道は計画決定170haで供用は169ha

【公共施設】適切な都市機能の誘導

- ・安芸市役所の移転、小中学校の移転統合、新駅の設置が検討中

【産業】経済活動の活性化

- ・就業人口は、第2次産業がやや減少し、第1次産業、第3次産業がほぼ横ばい傾向
- ・事業所数は減少（H28）
- ・総農家数は他市町村より多いが、販売農家数は減少傾向
- ・製造品出荷額は横ばい傾向
- ・年間商品販売額は増加傾向
- ・商店街の従業者数、年間商品販売額、売り場面積はいずれも減少傾向
- ・観光入込客数は横ばい傾向、宿泊客数は増加傾向

【地価】財政の確保

- ・地価公示は、H25まで下落傾向、近年は緩やかな減少

【災害】安全な地区への誘導、防災施設の整備

- ・安芸駅周辺においても浸水深5.0m～10.0mの浸水危険区域が存在

【歴史・文化】文化財の保全

- ・安芸平野は古代から農業地帯
- ・「安芸」の文字は続日本記（767年）に出現
- ・国指定文化財2件、県指定文化財5件、市指定文化財20件、国登録有形文化財11件、国重要伝統的建造物群保存地区1地区指定

【環境】環境負荷低減

- ・二酸化炭素排出量は、電気の使用によるものが全体の約8割

【財政】機能集約・統廃合の検討

- ・財政力指数0.29で自主財源が乏しい構造
- ・大規模改修が必要な施設が約6割

■時代の潮流

- ・少子高齢化、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりの重要性
- ・東日本大震災や豪雨災害等を教訓とした災害に強いまちづくりの重要性
- ・豊かな地域資源や歴史・文化環境を生かした地域活性化の重要性

■住民意向（平成30年11月調査結果）

- ◇居住意向【1位】家や土地がある【2位】地域や人に愛着がある【3位】居住環境が良い
- ◇転出意向【1位】余暇・趣味が楽しみにくい【2位】日常生活が不便【3位】居住環境が悪い
- ◇くらしの満足度【高】まちなみ・周辺環境、通勤・通学の利便性、日常の買物、コミュニティなど【低】公共交通、スポーツレクリエーション施設、医療福祉関連施設、保育園、幼稚園、教育施設、公民館・集会所などの利便性、地震津波、犯罪の安全性、子育て環境など
- ◇進めるべき重点まちづくり分野【高】中心市街地活性化、道路整備、防災・減災、産業・工業振興【低】公共交通（電車・バス）、観光、下水道、公園・緑地
- ◇まちの将来像【1位】子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち【2位】災害に強い安全なまち【3位】自然豊かな環境に恵まれたまち

■上位関連計画

【高知県】

- ◇東部圏域都市計画区域マスタープラン
- ◇高知県震災復興都市計画指針【計画編】
- ◇高知県土地利用基本計画書（安芸地域 抜粋）

【安芸市】

- ◇安芸市総合計画（前期基本計画）2016
- ◇安芸市まち・ひと・しごと創生 総合戦略
- ◇公共施設等総合管理計画
- ◇安芸市道路交通網ビジョン（基本目標）
- ◇安芸市農業振興地域整備計画
- ◇安芸市地域防災計画
- ◇安芸市過疎地域自立促進計画
- ◇災害に強いまちづくりガイドライン

■現状と課題

- 【人口】 人口・人口密度の低下の抑制
- 【土地利用】 市街地の低密度化の抑制
- 【公共交通】 公共交通サービスの向上
- 【都市施設】 都市施設の整備促進
- 【公共施設】 適切な都市機能の誘導
- 【産業】 経済活動の活性化
- 【地価】 財政の確保
- 【災害】 安全な地区への誘導、防災施設の整備
- 【歴史・文化】 歴史・文化財の保全
- 【環境】 環境負荷低減
- 【財政】 機能集約・統廃合の検討

■時代の潮流

- ・少子高齢化、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりの重要性
- ・東日本大震災や豪雨災害等を教訓とした災害に強いまちづくりの重要性
- ・豊かな地域資源や歴史・文化環境を生かした地域活性化の重要性

■住民意向（平成30年11月調査結果）

- ◇居住意向 【1位】家や土地がある 【2位】地域や人に愛着がある 【3位】居住環境が良い
- ◇転出意向 【1位】余暇・趣味が楽しみにくい 【2位】日常生活が不便 【3位】居住環境が悪い
- ◇くらしの満足度 【高】まちなみ・環境、通勤・通学、買物、コミュニティ  
【低】公共交通、スポーツREC施設、医療福祉関連施設、保育園、幼稚園、教育施設、公民館・集会所、地震津波、犯罪、子育て環境など
- ◇進めるべき重点まちづくり分野 【高】中心市街地活性化、道路整備、防災・減災、産業・工業振興  
【低】公共交通（電車・バス）、観光、下水道、公園・緑地
- ◇まちの将来像 【1位】子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち  
【2位】災害に強い安全なまち  
【3位】自然豊かな環境に恵まれたまち

■都市づくりの課題

- (1) 少子高齢化、人口減少の進行
  - ・安芸市の人口減少の進展
  - ・地域の活力低下のおそれ
  - ・生産年齢人口の減少による労働力人口の減少
  - ・生産年齢人口の減少による消費意欲の低下
  - ・消費者数の減少によるサービスの過剰化
  - ・経済成長鈍化や消費市場縮小の懸念
- (2) 中心市街地部のスポンジ化や未利用地の増加
  - ・DID地区の人口密度減少傾向
  - ・空家や空店舗の増加
  - ・低未利用地が残され、活力の低下
- (3) 高速交通網の拡充と公共交通による移動の円滑化
  - ・商業系や住居系の都市的土地利用の推進
  - ・バリアフリーや公共交通機関のニーズの高まり
  - ・公共交通を充実することによる拠点間の連携強化
  - ・誰もが安全で安心に移動できる都市づくり
- (4) 新たな広域交流拠点・産業基盤の創出
  - ・高速交通ネットワークの充実による東部圏域の広域的な連携強化
  - ・観光や物流などの新たな産業基盤の構築
  - ・交流拠点の形成による活力ある都市づくり
- (5) 地域の防災の強化・自然災害への備え
  - ・自然災害を想定、防災・減災対策が必要
  - ・避難対策の推進など災害に強い都市構造の構築
  - ・日常生活において安全安心を確保する都市づくり
- (6) 地域の魅力を活かした都市づくり
  - ・人と自然環境や地域資源が共生する都市づくり
  - ・観光の振興を図り、魅力ある都市づくり
  - ・魅力や強みを活かした都市づくりを進め、定住人口の確保や交流人口増加
- (7) 環境にやさしい都市づくり
  - ・バスなど公共交通の利用促進
  - ・持続可能で環境にも優しいエコな都市づくり
- (8) 公共施設などの老朽化対策
  - ・公共施設などの複合化や統廃合による規模及び配置の適正化
  - ・適切な大規模修繕や更新を実施し、安全と機能性を確保
- (9) 健康長寿の都市づくり
  - ・医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構想の実現
  - ・すべての人にやさしい健康長寿のまちづくりを図る必要性

# 都市づくりの基本的方向（案）及び施策例

## ■都市づくりの課題

- (1) 少子高齢化、人口減少の進行
  - ・安芸市の人口減少の進展
  - ・地域の活力低下のおそれ
  - ・生産年齢人口の減少による労働力人口の減少
  - ・生産年齢人口の減少による消費意欲の低下
  - ・消費者数の減少によるサービスの過剰化
  - ・経済成長鈍化や消費市場縮小の懸念
- (2) 中心市街地部のスポンジ化や未利用地の増加
  - ・DID 地区の人口密度減少傾向
  - ・空家や空店舗の増加
  - ・低未利用地が残され、活力の低下
- (3) 高速交通網の拡充と公共交通による移動の円滑化
  - ・商業系や住居系の都市的土地利用の推進
  - ・バリアフリーや公共交通機関のニーズの高まり
  - ・公共交通を充実することによる拠点間の連携強化
  - ・誰もが安全で安心して移動できる都市づくり
- (4) 新たな広域交流拠点・産業基盤の創出
  - ・高速交通ネットワークの充実による東部圏域の広域的な連携強化
  - ・観光や物流などの新たな産業基盤の構築
  - ・交流拠点の形成による活力ある都市づくり
- (5) 地域の防災の強化・自然災害への備え
  - ・自然災害を想定、防災・減災対策が必要
  - ・避難対策の推進など災害に強い都市構造の構築
  - ・日常生活において安全安心を確保する都市づくり
- (6) 地域の魅力を活かした都市づくり
  - ・人と自然環境や地域資源が共生する都市づくり
  - ・観光の振興を図り、魅力ある都市づくり
  - ・魅力や強みを活かした都市づくりを進め、定住人口の確保や交流人口増加
- (7) 環境にやさしい都市づくり
  - ・バスなど公共交通の利用促進
  - ・持続可能で環境にも優しいエコな都市づくり
- (8) 公共施設などの老朽化対策
  - ・公共施設などの複合化や統廃合による規模及び配置の適正化
  - ・適切な大規模修繕や更新を実施し、安全と機能性を確保
- (9) 健康長寿の都市づくり
  - ・医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構想の実現
  - ・すべての人にやさしい健康長寿のまちづくりを図る必要性

## ■都市づくりのテーマ（案）

### キーワード

1. 【くらし】快適なくらしの持続できるまちづくり
2. 【活力】にぎわいのあるまちづくり
3. 【防災】安全安心のまちづくり
4. 【魅力】自然・歴史・文化の薫るまちづくり

## ■目標

1. 安心してらせる人にやさしいまちづくり
2. にぎわい・活力のあるまちづくり
3. 持続可能なまちづくり
4. 災害に強いまちづくり
5. 自然豊で固有の歴史・文化を活かしたまちづくり

## ■基本方針（案）及び施策例

1. 安心してらせる人にやさしいまちづくり
  - ・子育て世代や高齢者が元気にくらす生活環境づくりを進めます。
  - 土地利用：定住促進、低未利用地の活用、中山間地域の集落機能の維持
  - 都市交通：幹線道路、狭小道路解消、バリアフリー化の促進
  - 生活環境：衛生的な環境（汚水処理）、安定した水道水の確保
  - 公園緑地：緑地の保全・活用
2. にぎわい・活力のあるまちづくり
  - ・商店街の活性化や雇用を生む産業振興に資する環境づくりを図ります。
  - 都市機能：中心市街地の活性化施策の推進
  - 産業：地域産業の振興
  - 土地利用：工業団地の保全、活用
  - 都市交通：広域ネットワークを活かした産業振興
3. 持続可能なまちづくり
  - ・都市機能の集積や公共交通ネットワークで都市の持続的な発展とともに、都市施設の効率的な管理を図ります。
  - 土地利用：適正な市街地規模の誘導（市街地）
  - 土地利用：拠点形成（市役所、学校統合、I.C.、新駅）
  - 土地利用：農地山林の環境維持、海山川の自然環境の保全
  - 交通施設等：高速道路・I.C.、新駅の早期整備、歩行者・公共交通を優先するまちづくり
4. 災害に強いまちづくり
  - ・防災対策、減災対策による災害に強いまちづくりを図ります。
  - 都市防災：木造密集地区の防災性の改善、災害に強い環境（避難路、避難タワー、耐震耐浪建築）、スポンジ化対策、道路橋梁などの改修、水害（河川整備）・土砂崩れなどの災害予防対策、河川改修、雨水排水施設、防災意識の向上
5. 自然豊で固有の歴史・文化を活かしたまちづくり
  - ・安芸市の財産である歴史文化史源や自然資源を活かした魅力ある都市形成を図ります。
  - 都市機能：レクリエーション基盤の強化（駐車場、サイン）
  - 都市景観：固有の歴史、文化、自然、風土を活かした景観創出
  - 観光：地域資源の連携による観光振興、環境学習
  - 農村景観：豊かな農村景観の維持

## 4.2 将来フレーム案

安芸市（市全域）の将来人口は、中長期的な人口の将来展望を示した「安芸市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（人口ビジョン編）」に準拠し、10年程度（平成42年/2030年）人口を16,226人、20年後（平成52年/2040年）の人口を15,121人とします。

また、安芸市都市計画区域の将来フレームは、「安芸市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（人口ビジョン編）」に準拠して算出された「高知県東部圏域都市計画マスタープラン」の将来フレームに基づき、10年程度（平成42年/2030年）人口を6,579人、20年後（平成52年/2040年）の人口を6,142人とします。

表 4-1 安芸都市計画区域の将来フレーム

年	総人口	A:人口ビジョン	一般推計 (社人研推計)	B:都市計画区域内人口	B/A:都市計画区域内人口のシェア率	備考
H2年 (1990年)	23,739			9,586		
H7年 (1995年)	22,377			9,045		
H12年 (2000年)	21,321			8,590		
H17年 (2005年)	20,348			8,283		
H22年 (2010年)	19,547			7,898		
H27年 (2015年)	18,593	18,593	18,593	7,520	0.4045	
H32年 (2020年)		17,639	17,345	7,140	0.4048	$((B/A(2015年))+B/A(2025年))/2$
H37年 (2025年)		16,933	16,194	6,860	0.4051	
H42年 (2030年)		16,226	15,064	6,579	0.4055	$((B/A(2025年))+B/A(2035年))/2=C$
H47年 (2035年)		15,674	13,971	6,361	0.4058	
H52年 (2040年)		15,121		6,142	0.4062	$((B/A(2035年))-C)+B/A(2035年)$

出典：A:人口ビジョン 「安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョン編）」、一般推計 「国立社会保障・人口問題研究所」、B:都市計画区域内人口 「高知県東部圏域都市計画マスタープラン」に基づき、国勢調査から算出される総人口に占める都市計画区域内人口のシェア率を勘案し算出した値

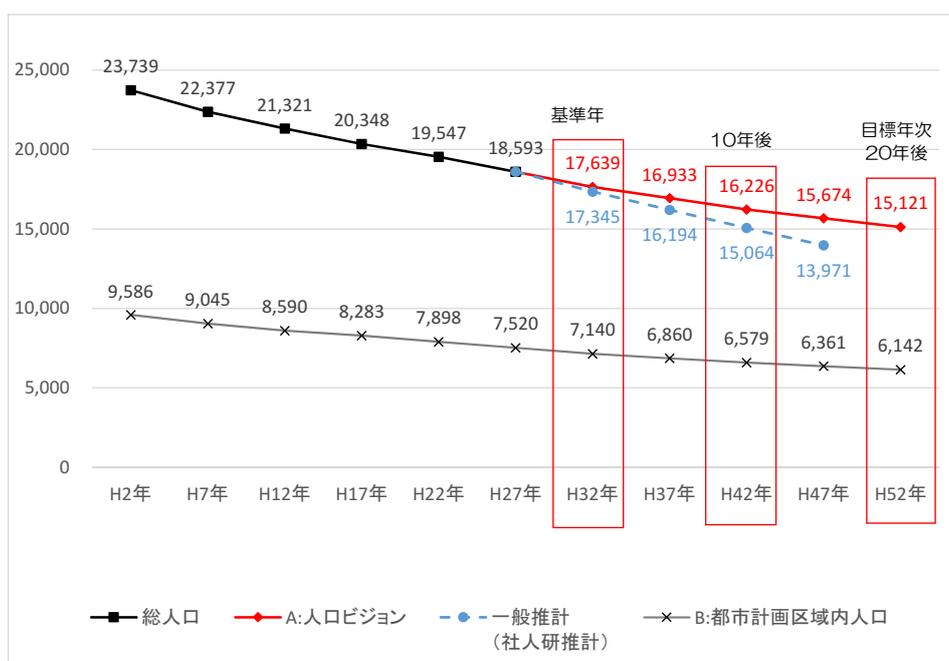


図 4-1 人口の推移（見通し）と将来フレーム（都市計画区域内）